

## 【製品の特性とお取り扱いについて】

- ・食器は衛生上、使用前に洗ってください。
- ・強い衝撃や急激な温度変化で、割れたり欠けたりすることがありますのでご注意ください。
- ・電子レンジで使用する場合は、各機器の注意事項と取扱説明書を十分に確認の上、ご使用ください。
- ・直火、オープン、IH クッキングヒーターでのご使用はできません。
- ・製品を積み重ねたり運搬する際は足元に落としたりせぬようご注意ください。
- ・製品の裏底でテーブルなどを傷つけることがありますので、ご注意ください。
- ・製品は本来の用途（食器やインテリア）以外には、ご使用にならないでください。
- ・釉薬のかかっていない部分は、食酢など酸性が強い食品に接した状態で長時間使用すると、素地を傷つけることがあります。
- ・家庭用食器洗い乾燥機を使用する場合は、注意表示および取扱説明書を十分に確認の上、ご使用ください。
- ・ご使用後の汚れは、早めに落としてください。そのままにしておくとシミや汚れが落ちにくくなります。
- ・茶渋などの汚れは市販の酵素系台所漂白剤を使用してください。その場合は、説明書に従い正しくご使用ください。
- ・手作りのため個体差があり、色合い、形、大きさ、厚み、重さ、柄の入り方の違い、小さい黒点、絵の具のとび、下地まで達していないピンホールが見受けられますが、ご使用するにあたり問題はございません。
- ・テーブルに置いた際の多少の揺れは、製品の特性であり、ご使用に問題はありません。蓋部分も指で触れると小さくカタカタと鳴ります。手作りならではの特性となりますことご理解の上お買い求めください。
- ・蓋のツメ部分を注ぎ口とは逆に置いて蓋をしていただきますと安定しますが、必ず蓋を手でおさえて注いでください。
- ・表面に釉薬の貫入（表面釉薬の亀裂）が入る事がございますが、これは製品がヒビや破損しているわけではありません。釉薬の貫入は、製品の製造過程において発生する自然な現象であり、製品の機能性や耐久性には影響を与えません。
- ・キャニスターは持ち運ぶ際に蓋を持たないでください。容器が蓋から落ちて破損する恐れがあります。
- ・キャニスターに液体を入れしないでください。倒れると水がこぼれる恐れがあります。
- ・マット釉は経年にわたって風合いが変化する特性があります、これはマット釉の特徴ですので陶器を育てながらその変化を楽しんでください。

## 【キャンドルホルダーを使用する際の注意点】

- ・ヒビが入ったり欠けたりしているものは使用しないでください。
- ・消火に際しては水を使わないでください。
- ・燃えやすい物の近くで使用しないでください。
- ・ロウが飛び散る可能性があるため、強く吹き消さないでください。
- ・燃焼中は常に側を離れず、就寝時や離れる際は必ず消火を確認してください。
- ・燃焼中や消火直後に触れたり移動させないでください。
- ・点火時には芯を垂直に立て、キャンドルをカップから出さずに使用してください。
- ・金属製のカップ入りのキャンドルは使用しないでください。
- ・安定した水平な場所で使用してください。
- ・炎が直接ホルダーに当たると割れる可能性があるため、直接ホルダーに火が当たらないようにしてください。
- ・棒状のキャンドルを使用するホルダーは、キャンドルの差し込み口より3 cm上で消火してください。
- ・この商品は陶磁器製のため、サイズに個体差があります。